



東北・福島+埼玉=福の玉 が生まれ、ゆっくりふくらんでいきますように...

福玉便り

ふく たま だ よ り

9 10

2018年9月1日発行

通巻第73号

発行:『福玉便り』編集委員会 NPO法人埼玉広域避難者支援センター・(一社)埼玉県労働者福祉協議会

協力:生活協同組合コープみらい埼玉県本部

連絡先:NPO法人埼玉広域避難者支援センター 〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤 6-4-21 ときわ会館4F TEL080-4331-0290

交流の旅・懐かしい笑顔に再会

- 日時:平成30年9月11日(火)
- 場所:川越市「小江戸の街並散策」
- テーマ:郡山市近郊にお住いの富岡町民と川越市近郊にお住いの富岡町民との交流
- 連絡先:富岡町県外避難者拠点事務所
048-832-0600

福玉交流サロンin大宮

福玉交流サロンをさいたま市大宮区で開催します。今回はヨガの先生による健康増進体操を計画しました。夏バテ気味の体のケアをしてみませんか。

- 日時:10月9日(火) 午前11時30分開会
- 会場 東天紅大宮店
- 参加費 1000円
(アルコールは各自負担をお願いします)
- 募集人数 先着40名様
- お申込・お問い合わせ
埼玉労福協(048-833-8731)
富岡町県外避難者拠点事務所(048-832-0600)

先着
30名様

in

●9月19日(水)午前11時~午後1時30分

※受付時間午前10時30分~

●パレスホテル大宮

1階レストラン「パルテール」

JR大宮駅西口より徒歩3分(さいたま市大宮区桜木町1-7-5)

●参加費:大人500円(中学生未満 無料)

(通常は大人2,600円、4歳~小学生1,500円のランチです)

●申込み:電話での予約をお願いします。

2018年8月23日より受付開始
~9月12日締切

(一社)埼玉県労働者福祉協議会

電話048-833-8731 9:00~16:00

●主催:ネットワークSAITAMA21運動
企画協力:福島県復興支援員埼玉事務所

●ママランチ会
埼玉に避難しているママ達が、子育てのこと、ママ自身のことなど、色々な思いを話しながら、おいしいランチを食べる会です。



子育て中のママ、子育てが終わったママに、褒めを！ホテルのシェフが作る美味しいランチbuffetと一緒に楽しみましょう。



コープみらいフェスタ

さいたまスーパーアリーナ



日時 10/14日 10時~15時30分 会場 さいたまスーパーアリーナ

~詳しくは、コープみらいのホームページをご覧ください~

同時開催

- 国際フェア2018
- 埼玉物産観光フェア
- 医療生協さいたま健康フェスタ

コープみらいの食育「たべる、たいせつ」をテーマに開催します。人気のコープ商品や産直野菜のお取引先など約70社が試食・販売する物産展や親子で楽しく学べる食の体験企画、ステージをお楽しみください。東日本大震災復興支援団体による物産品の販売もおこなわれます。

相続問題は、まずは専門家に相談を



東日本大震災および原発事故の発災から7年が過ぎた今でも、首都圏で避難生活中の方々にとって生活再建における課題はたくさんありますが、震災支援ネットワーク埼玉にお寄せいただく相談の中で、一例として、相続の問題があります。

一般的に、先祖代々の土地の名義がすでに亡くなっている先代や先々代などのままになっているケースは多いものです。

ところが、東電への損害賠償請求を行うことになった方々には、相続の問題がいきなり浮上することになりました。名義が先代のままであれば、その配偶者及び子供たちが相続人となるわけですが、兄弟がすでに亡くなっている場合、名義が先々代以前であるケースでは、相続の対象が多くなり、不動産の名義変更、相続手続きはとても複雑なものとなります。

震災及び原発事故による避難は緊急を要するものであったために、親族が広域に、遠く離れて避難せざるを得ない状態になりました。相続人が一堂に会って相談しあう事も難しい状態にあることでしょう。電話で連絡を取り合った場合、一対一でのコミュニケーションとなり、多くの相続対象がいる場合には、当事者間の意見調整は困難を極めます。時には感情的になって話がこじれてしまう事もあることでしょう。特にすでに避難元（あるいはその近く）に戻って生活を始めている親族と、県外に移住した方や避難生活を継続している方との間で折り合いがつかずに、親族間でのトラブルに至ってしまっているケースも見受けられます。

このような相続問題の解決にあたっては、第三者の立場から手続きを進めてくれる、法律の専門家である司法書士や弁護士に委ねるのがお勧めです。もちろん、実際に手続きを行ってもらった場合には報酬が発生することになりますが、手続きの専門性の高さ

や煩雑さから、費用を支払ってでも任せて良かった、というケースが多いものです。何よりも第三者的立場から、法律に則った正当な手続きを行ってもらえることが大きなメリットとなることでしょう。

ご自分の今の状況では、相続の問題について、どうしたらいいのか分からないという場合、まずは「法テラス」に電話で問い合わせをしてみるといいでしょう。全国どこからでも電話で問い合わせができます。法テラスの専門オペレーターが、お問い合わせ内容に応じて、法制度や相談機関や専門家を紹介してくれます。もちろん利用料は無料です。

また、震災支援ネットワーク埼玉では、埼玉県を中心に、発災以来多くの避難者の相続問題について相談に対応しています。事務局へお電話いただければ、司法書士や弁護士などの適切な専門家や専門機関などにおつなぎさせていただきます。

ぜひお気軽にご連絡ください。

●法テラス・サポートダイヤル

電話：0570-078374（ナビダイヤル）
固定電話からは、全国一律3分8.5円(税別)
携帯電話からは、20秒10円程度(税別)
(IP電話からは電話：03-6745-5600)
平日の9時～21時、土曜日の9時から17時

●震災支援ネットワーク埼玉事務局

電話：090-8879-0213（担当：愛甲）
＊相談対応中や移動中など、電話に出れない場合には留守録を残していただければ折り返しご連絡させていただきます。

生活協同組合パルシステム埼玉 「東日本大震災復興支援助成金」 応募団体募集

パルシステム埼玉「東日本大震災復興支援助成金」は、埼玉県内で東日本大震災復興のために活動している！これから活動を始める！という団体を応援します！

○東日本大震災により、埼玉県に避難している方たちをつなげたい／被災地の子どもたちに埼玉県で遊んでもらいたい／埼玉県に避難されている方たちに情報を発信したい／東日本大震災の被災地と埼

玉県をつなげて交流したい……パルシステム埼玉「東日本大震災復興支援助成金」は、東日本大震災による被災地及び被災者への支援を行う団体に対して、パルシステム埼玉が社会貢献活動の一つとして資金面で支援していく制度です。

○応募期間 2018年9月3日(金)～10月31日(水)

※当日消印有効

○助成対象期間 2019年4月1日から2020年3月31日までの1年間に実施を計画している活動

○上限額は1件50万円

○この助成を受けられる団体は2018年度より1団体につき通算3回までとします。

○詳しくは、パルシステム埼玉ホームページ「地域貢献活動」→「震災復興支援助成金」をご覧ください（9月3日に掲載予定）。

<http://www.palsystem-saitama.coop/>

○申込み説明会（参加必須ではありません）
10月13日(土)10時～12時 ぱる★てらす（浦和駅東口徒歩5分）

○問い合わせ；パルシステム埼玉「東日本大震災復興支援助成金」係 048-829-8961（月～金 9：00～17：00）

福玉相談センター「相談・交流会」の報告

6月30日(土)

北坂戸市文化施設オルモ



この日は、すでに朝から異常な暑さ。よりによって、東武東上線が一時運休・遅延するというアクシデントに見舞われ、スタッフも焦って汗をかきながら集合、午前11時開始の予定を少し遅らせて始めました。福島県避難者支援課および生活拠点課から復興の現状と取組、支援策についての説明があり、その後、埼玉県社会福祉士会の多ヶ谷さんより「避難者住宅確保・移転サポート」事業についての説明がありました。この事業について、詳しくは仲野さんからの案内記事をご覧ください(下欄)。

午前の部はこれで終了、昼食の時間となりました。参加者19名と埼玉県住宅課など各関係機関の担当の方々、センターのスタッフをあわせて総勢40名弱となり、部屋が少し狭く、その分お隣さんとの距離が近く、あちらこちらで交流が進み、話し声で賑わいました。

午後1時になって一旦おしやべりを止め、健康維持のための軽い体操や言葉遊びなどを皆で行いました。その後、血圧計と圧力測定器で順番に計測をし、互いの数値を見せあうなど盛り上がりました。この間、別室では弁護士による個別相談への対応、廊下では子どもたちが走りまわっていました。その後、それぞれ自由で過ごし、3時に閉会となりました。

アンケートには「近い場所での開催だったので参加できた」「福島の人と沢山話せた」「情報を得ることができてよかった」等の声がかかれてあり、少しでも次につながる一日になれたのならうれしい限りです。今後も、参加してよかったと思

うな機会を県内各地で設けますので、お気軽にご参加ください。ということ、さっそうく次回のお知らせです。少し先ですので、手帳に控えておいてくださいね。

(編集部・薄井)



★福玉相談センター交流会

11月15日(木) 13時~16時

越谷市コミュニティセンター(サンシティホール) 視聴覚室(JR武蔵野線南越谷駅、東武スカイツリーライン 新越谷駅より徒歩3分)

「介護」について学びながら交流も行います。簡単な体操や健康チェックも行います。相談にも対応いたします。健康や介護に関してはもちろんのこと、それ以外のことでなんでも結構です。事前にご連絡ください(相談ダイヤル0120-60-7722(午前9時~午後5時/祝日・年末年始を除きます))

「避難者住宅確保・移転サポート事業」について

福島県は、福島、茨城、栃木、埼玉、千葉、東京、神奈川及び新潟の各都県で、応急仮設住宅の供与終了後の新たな住まいの確保を支援するため、NPO団体等に委託して、「避難者住宅確保・移転サポート事業」を実施しています。

当事業では、応急仮設住宅の供与終了後の新たな住宅確保の目的が立っていない世帯が、新たな住宅等に円滑に移行できるよう、電話や戸別訪問により、住まい探しの支援(生活状況に応じた物件

相談、不動産事業者への付き添い)や、手続き支援(賃貸住宅契約時や転居時の必要書類作成のお手伝い)を行なっています。

当事業の対象となる世帯は、下記の(1)~(3)のとおりです。

- (1)平成31年3月末で応急仮設住宅の供与が終了する世帯
- (2)平成30年3月末までに応急仮設住宅の供与が終了した世帯
- (3)(1)、(2)に掲げるもののほか、新たな住宅確保に向けた支援が必要な世帯

埼玉県内での相談先は、「公益社団法人埼玉県社会福祉士会」となりますので、支援を希望する方やお話を伺いたい方は下記連絡先にお問い合わせ願います。

<お問い合わせ先>

名称:公益社団法人埼玉県社会福祉士会(埼玉県さいたま市中央区本町東1-2-5 ベルメゾン小島203号室) 電話:048-762-6012 受付時間:【月曜日~金曜日】9:00~17:00(祝日・年末年始除く)

(福島県避難者支援課:仲野)

会いに来ましたよ〜告半

(後の)報

福玉相談センターの薄井・松館・谷森3人の「会いに来ましたよ」ツアーが決まるや2日目・南相馬市小高区訪問の相談を本田正子さんにしました。本田正子さんは「新座さいがいっながらカフェ」に参加されていた方で、昨年3月、原町区の復興住宅に移られました。そして、1年がかりで小高区のご自宅を整備され、今年3月、復興住宅からご自宅に戻られました。

さいねども。それに、4月にオープンしたばかりの柳美麗さんの書店「フルハウス」にも行ってみたい、と私がお願いでコースに入れてもらいましたが、当日に向けて本田さんが下調べをされたところ、「フルハウス」は22日(日)お休みとのこと、訪問が叶わず残念でした。

私が小高区訪問の相談をした時、本田さんは二つ返事でご快諾くださいました。また、小高は田舎町なので小高神

2日目9時過ぎ、鹿島区の農家民宿「翠の里」で朝食を済ませた私達3人は、ふくしま連携復興センター職員の小林さんが運転するワゴン車で、小高区を目指して出発しました。1時間足らずで本田さん宅に到着。



本田さんのご自宅の前で

社と小高海水浴場くらいいかないですよ。でも、黒色のフレコンパックは是非見てくだ

本田さんご夫妻に迎えられる、先ずは1年余ぶりの再会を喜び合いました。大震災前は自宅の居間からも海が見えたそうですが、今は防潮堤と黒色のフレコンパックが見えるだけになってしまったとのこと。また、ご自宅の整備状況や小高区に戻られてからの様子など話

はつきませんでした。町の見学に出かけました。本田さん宅の門を出て、直



ご自宅の前の畑の様子

ぐ前の本田さん敷地前の畑(5〜6メートル程低地)は仮置き場になっていて、一面が除染物を入れた黒色のフレコンパックでした。そして、一部のフレコンパック上に「緑色のビニール?」が覆われていました(フレコンパックの「耐用年数?」が経つたので、放射線漏れを防ぐため、その上から覆うのではな

さんの車の2台に分乗して出かけました。日曜日なので道中も浜辺でも工事は休みとあって作業員には出会うことなく、閑散としていました。折からの猛暑で汗だくでしたが、海風が涼しく、10分もすると汗が引きました。震災前の小高海水浴場はとても賑わっていたそうですが、砂浜には8メートル程の防潮堤が造られ、浅瀬には2重にテトラポッドが積まれていて、泳ぎに行くのは難しいのではないかと思います。

次は、小高駅近くのラーメン屋さん(原町区に避難されていたが、昨年小高に戻って再開したとのこと。とても本田さんが予約してくださいだったので、待つことなし!)で昼食を摂り、小高神社へ向かいました。小高神社は鎌倉時代末期に創建されたそうで、相馬太田神社・相馬中村神社とともに相馬三妙見社といわれ、毎年七月に行われる「相馬野馬追」は相馬三妙見社が合同で行い、境内では出陣式や、最終日の野馬懸が行われるそうです。また、桜の名所ようですが、残念ながら私たちは葉桜見物でした。そして、本田ご夫妻との別れを惜しみながら、震災7年後の南相馬を後にしました。次に、本田正子さんが書いてくださった「小高区の様子」です。



小高神社の境内で

南相馬市小高区の様子

本田正子

避難者指示解除から2年後の今年3月、私たち夫婦は、自宅のある小高区に帰ってきました。7年ぶりになります。

避難中は多くの皆様のご支援やご協力、励ましを頂き感謝申し上げます。特に、「新座さいがいっながらカフェ」代表の谷森さん、愛甲さん、司法書士の中川さん・阿部さん、立教大学の

生活クラブ生協川口ブロック地域協議会主催 「福島を考える」学習会のご案内

- 日時:10/21(日) 10:30~12:30(13:30)
- 場所:生活クラブ生協 埼玉本部 埼京線「中浦和駅」 徒歩5分弱
さいたま市南区別所5-1-11 TEL:048-839-4881
- 内容 ①10:30~12:30生活クラブふくしまの組合員の方から甲状腺検査活動や現在の福島の状況について伺います。質疑応答を行った後には、参加者同士で 経験や思いを共有する時間にしたいと思います。②12:30~13:30希望者による交流会(昼食を食べながら)
- 参加ご希望の方は、ぼろろんの時間・鈴木さん070-5594-0053か、編集部の薄井080-5532-7380までご連絡ください。

2018年秋 福島にこころをよせて～いま私たちにできること vol. 12

講演と交流のつどい～福島は今

あきらめないことにしたの Part2

- 日時 2018年9月22日(土)午後2時~4時15分
- 場所 浦和コミュニティセンター 第14集会室
(JR浦和駅東口徒歩1分/パルコ上階・コムナーレ10F)
- 参加費 無料(福島県語り部派遣事業利用)



「いいたて雪っ娘」カボチャと地域の食の伝統を守るために奮闘する 渡邊とみ子さんが語ります

緑豊かな飯館村は、7年前の原発事故で放射能汚染され、全村避難を余儀なくされました。仮設住宅に散り散りになった仲間に声をかけ、福島大学の先生たちと協働で「かーちゃんのカボチャプロジェクト」を結成した渡邊とみ子さん。阿武隈地域の食文化の継承を掲げ、食品加工販売を開始。手を動かす中で、泣き顔のかーちゃんたちに笑顔が戻りました。放射能測定をして食の安全にも

取り組みました。2年前に「原発事故なんかで夢を「あきらめない」と語るとみ子さんに私たちは感銘を受けました。その後、村の大部分は避難解除されましたが、戻って暮らす人は多くありません。あの「かーちゃんたち」の今、飯館村の、福島の、そしてとみ子さんの今を話していただきます。

ぜひとみ子さんの笑顔に会いに来てください!

- 渡邊とみ子さん 1975年飯館村の農家に嫁ぐ。地域振興、農家の自立をめざす活動に参加。「まじい工房美彩恋人」を起業。震災直後から昨年まで「かーちゃんのカボチャプロジェクト協議会」会長

主催 グループTAKIZAKURA

<お問い合わせ> 塚田 048-887-7786 竹内090-2762-2639

国内避難民と人権について ～国連人権理事会報告までの道のり～

今年、3月の第37回国連人権理事会で、原発事故被災当事者として演説をされた森松明希子さん、そして、その橋渡しに貢献され、自らも発言された鈴木かずえさんを川越にお招きして、「国内避難民」と「人権」について学びます。

- 2018年9月22日(土) 13:15~16:30
- ウエスタ川越 3F 研修室 2、3
- 主催:ここカフェ@川越、ぼろろん、原発避難者と歩む@川越
- 共催:環境 NGO グリーンピース・ジャパン
- お問合せ 070-5594-0053 (鈴木)

原田先生と学生さんたち、ス
タッフの皆様の心温まる支
えがあったからこそ、今の自
分達があると思っています。
今住んでいる小高区は、
3000人位の人が帰って
来て生活しています。来年4
月頃には多少増えるよう
です。自宅のある片草部落は、
145世帯あったのが約
1/3の50世帯の人達が戻
ってきました。大部分はご高
齢の方達です。そんな中、ご

近所に住んでいる友人から
誘われて、温泉旅行に1泊で
楽しんできました。このよう
に、地元での生活も少しずつ
慣れてきました。趣味でやっ
ていたフラダンスも続けて
います。その他、ボランティア
活動にも入会させていた
だき、先日、6月10日の全国
植樹祭にも小高赤十字支部
のメンバーとして、ボランテ
ィアでお手伝いさせていた
だきました。原町区雫(しど

け)地区の植樹祭に、天皇・
皇后両陛下がお見えになり、
黒松・赤松などお手植(てう
え)、お手蒔(てまき)されま
した。全国から9000人位
の人達と一緒に「育てよう
希望の森を、いのちの森を」
をスローガンに、地域住民と
一丸となって植樹祭は無事
終わりました。感動と感謝
で、この上なく幸せを感じた
一日でした。

は、商業施設が今年12月頃完
成する予定です。そうすれば
買物も便利になります。今は
3日に1回、車で約20分位か
かる所へ行っています。小高
病院も今は診療所になって
いますが、いずれ縮小して19
病床の建物が出来て、だんだ
んと普通の生活が出来るよ
うな町になります。私たちも
微力ながらお手伝いをして、
希望を持って生きて行こう
と思います。そして、まだ帰

ってこれない方々の一日も
早い普通の生活が戻れるよ
う願っています。
最後になりましたが、谷森
さん、松館さん、薄井さん、小
林さん、私達の住んでいる田
舎まで来てくれてありがとう
ございました。また、機会があ
りましたら来てください。

(文責:谷森櫻子)

新しい復興支援員さんをご紹介します

福島県復興支援員

内山 久代さん

介護支援専門員(ケアマネージャー)として、長



年、高齢者や知的障がいの方の施設などで働いてきました。復興支援員になる前は、県内の特別養護老人ホームで相談員として入所に関する相談に対応したり、入所の手続きや契約を行う業務をしていました。退職して、ハローワークに行ったらところ、復興支援員の仕事を紹介されました。条件の中に「福島県の方を優先」とあるのを見て、宮城県南三陸町志津川の出身である自分にとって他人事ではないと感じ、この仕事をやってみようと思いました。

東日本大震災の当日は、入所予定の方の家に向かっているところで地震に遭いました。車があまりに揺れるので止めたら、道路に立っている電柱がぐらぐら揺れていました。慌ててホームに戻

りました。その日はたまたま宿直にあたっており、テレビで仙台の津波が街を襲っている様子を見て一度実家にメールしたところ「全滅です」との

返信がありました。それ以降、通じなくなりました。入所者さんに対応しながら、余震も続いていたので、一晩中眠れず、仕事をしていました。実家は海が目の前で、それがかえってよかったようで、素早く全員避難したため幸い無事でしたが、親戚や友人を多く失いました。なかなか復興が進んでいませんでしたが、ここに来て家々も建ち始めています。時々帰省しますと、街の風景がどんどん変わっていくのを感じます。盛り土をしているとは思いますが、土地が低くなったのか、海が襲ってくるように感じます。利用していた気仙沼線の鉄道は復旧の予定がなく、寂しいですね。支援員の仕事を始めて一

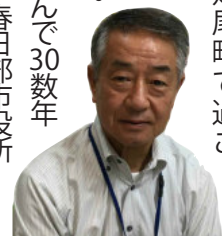
カ月が立ちました。今までの仕事でも相談者の方の立場にたって対応することを心掛けてきましたが、さらに原発避難特有の問題もある中で、今は先輩たちの対応を一つ一つ見ながら勉強中です。つくづく人の気持ちを大事にする仕事だなと思います。10〜20分の訪問時間の中で、なかなかすぐに皆さんの気持ちに東北の方々は我慢強く頑張る屋が多いので、短時間で自分の想いを表現するのを控えるような気がします。私たちが訪問することで、少しでも心がホッとしていただければ、とてもうれしいです。

趣味は、フラワーアレンジメントです。時間を忘れるほど熱中しています。身体を動かすことが好きで、毎日夕方歩いていきます。健康に生んでくれた親に感謝しています。時々マラソン大会にも参加して走っています。蓮田のスイーツマラソン大会によく出ました。応援してくれる方の顔が見えるような、近くの大会で走るのが好きです。

富岡町復興支援員

米山慶一さん

栃木県足尾で生まれまして、高校まで足尾町で過ごし、今は埼玉県で暮らしています。



杉戸町に住んで30数年になります。春日部市役所に勤務し、最後は福祉部長で、そこから春日部市社会福祉協議会の常務理事を務めています。合計11年間ほど福祉関係にいたことになりました。

地震が起こった当時は、授産センターの挨拶に行ったりでした。揺れがすごかったですね。お母さん、子どもたちもいたので、すぐに机の下にもぐりこんだことを思い出します。その後、岩手県気仙沼へボランティアに行きました。震災の数か月後、県の補助を活用し、春日部市社協でバスをチャーターしボランティアさんを募集して行きました。その時は油のついた田んぼの油を取って袋に入れるという作業をしました。現地では大きな船が道路に打ち上げられていた光

景を見て、驚きました。春日部市での避難者の受け入れとしては、高齢者福祉施設の「大池憩いの家」を避難所として開放しました。社協も交代で詰めています。避難されている方にとって何が必要なのか、と考えながら対応していました。そこは一年間近く避難所になっていました。

住んでいる杉戸町は富岡町と友好都市なので、富岡町のことはわかっていました。仕事をやめてしばらくたった頃、たまたま支援員を募集しているらしいという話を聞きまして「自分に役に立つことがあるならば」「面接だけでも受けてみようか……」と思いました。立ったという縁です。5月から週5日勤務しています。最初はとまどうこともありました。先輩の様子を見ながら覚えていき、訪問にも同行し、その中で学んできているところです。訪問先でお話をする中で、私は富岡出身ではないので町の話になるとわからないことがあります。これから勉強してい

コンサート・アカシアへの誘い!

- 日時 9月22日(土)PM7:00~
- 場所 浦和コミュニティーセンターJR浦和駅
東口徒歩1分 PARCO・コムナーレ10F
- 宇佐見京子他によるソプラノデュエット「日本の名曲」「ヨーロッパの名曲」
宇佐見京子プロフィール……さいたま市出身で富岡町に嫁ぎ、東日本大震災・原発事故に被災。震災前は、富岡町、いわき市方面で活動。現在はさいたま市に居住。
- チケット代 1,500円(但し、東日本大震災で避難されてる方には、無料で差上げます)
- チケットお渡し所……富岡町県外避難者支援拠点事務所(048-832-0600) さいたま市浦和区常盤6-4-21 埼玉県勤労者福祉センター(ときわ会館4F)

歴史をのんびり堪能アート ~太古のロマン・行田埴輪編~

- 日時2018年9月30日(日)開催
- 集合時間:8:20《集合場所:武蔵野線南越谷駅南口》
- 会場:さきたま古墳公園
- 日程 8:20 集合 8:30 出発→9:30 到着「さきたま古墳公園」にて埴輪作り→11:30 昼食 ※お弁当をご用意しております→《自由時間》資料館・展示館や、パワースポットのさきたま神社などをご覧ください。→14:20 バス集合 15:30 新越谷駅 到着・解散
- 締め切り:9月18日(火) 定員40名
- 申込先:特定非営利活動法人 日本臨床美術協会 事務局 電話 050-3735-2028(平日9:30~18:30)
- メール association@arttherapy.gr.jp



避難者と支援者による 2018 ふれあいフェスティバル

- 今年も、「東京ボランティア・市民活動センターなどの実行委員会」による「避難者と支援者による2018ふれあいフェスティバル」が下記の日程で実施されます。
- 日時 2018年9月30日(日)10時30分~15時30分
 - 場所 都立小金井公園
 - 問合せ 東京ボランティア・市民活動センター 電話 03-3235-1171

かなければと思っています。この間、スタディバスツアーで富岡町や双葉の町の、少しずつ復興している様子を見てきたところです。今までの福祉業務に関わってきた経験から、やんわりと情報をお伝えできることもあるのかなと思います。まず我々のやるべきことは、避難されておられる方々に寄り添って、お話を聞く事、そしてそれを富岡町に報告をしていくことだと思っています。

今のところ、一番遠方としては新潟県柏崎市に行ってきました。これから長野、東海方面に行く予定が入っています。最寄り駅まで電車で行って、駅からレンタカーを借り、ナビに番地を入れて訪問するのですが、ナビではわからない場所もありましたので、大変な時もあります。よく先輩たちは全国を廻ってこられたなあ、と頭が下がります。訪問して「よく来てくれた」という言葉を聞くとうれしいです。近所づきあいもあり暮らしている避難者さんもおられますので、私たちが訪問することで少しでも力になればと思います。住み慣れた故郷を離れての暮らしですから大変だと思えますが、生きがいを見つけて、頑張っていたきたいと願っています。

家ではトレーニングマシンを使って体を鍛えています。朝4時半ぐらいに起き、腹筋をやってから、30分~1時間ぐらいエアロバイクを漕いでいます。運動は好きです。30~40歳の頃からマラソン大会に出て走っていました。大工仕事も好きで、大工道具を揃えて孫たちから注文を受けて机や椅子などを作りました。畑仕事もやっています。きゅうり、なす、トマトが終わり、これからは玉ねぎをたくさん植えようかなと思っています。

(聞き手:編集部・薄井)

●風水害について

このたびの平成30年7月豪雨により亡くなられた皆様と御遺族に対し、謹んでお悔やみ申し上げます。

平成30年台風第7号及び前線等に伴う大雨災害により、西日本を中心に甚大な被害が出ました。埼玉県は生活の身近に川があり、県土に占める河川面積の割合が日本一、荒川の川幅も日本一と二つの日本一があるため「川の国 埼玉県」と称しています。これから台風シーズンを迎えますので、住んでいる地域にはどのような風水害の危険性があるのか、日頃から「洪水ハザードマップ」で、身の回りの浸水の危険箇所や避難場所を確認しておきましょう。ハザードマップは、お住まいの市町のホームページや窓口で確認することができます。

*防災情報を手に入れる「川の防災情報メール配信サービス」
entry-saitama@bousai-mail.jp に空メールをおくると登録手続きができます。河川氾濫注意水位情報や土砂災害警戒情報をメールで配信しています。



編集部よりお願い ご住所の変更はご連絡を!

最近、発送した『福玉便り』が「あて所に尋ね当たりません」とスタンプが押されて戻ってくるが増えています。『福玉便り』はどこにお住まいになられても、ご希望いただければお届けいたします。お時間のある時に、住所変更のご連絡をいただければ幸いです。よろしく願いいたします。連絡先 NPO 埼玉広域避難者支援センター 080-4331-0290 *出ない場合は、留守番電話に「住所の変更の件で」と残していただけたら折り返しご連絡いたします。

32 玉兎の会
9/1(土)、10/27(土)10:30~12:00
With Youさいたま4F和室
☎090-6128-1948(小林さん)

33 つながり
奇数月第一土曜日(1月はお休み)
毛呂山中央公民館
毛呂山町 ☎090-9032-8116 河井さん

1	
2	
3	14
4	
5	
6	8
7	16
8	
9	3
10	
11	19
12	
13	
14	16
15	
16	3
17	
18	1
19	
20	
21	15 27 5 5
22	
23	
24	
25	19
26	
27	5 32
28	25
29	

<http://431279.com/>
(SSN震災支援ネットワーク埼玉)

3 福玉交流サロン 10/9
(火) 詳細は1ページ

16 あゆみの会
9/16(日)越谷市お仕事展になみえ焼きそば出店
9:30~
越谷市増林地区センター
10/7(日)さつまいも堀りと秋刀魚会
10:00~14:00
あゆみの会畑(雨天順延)
10/14(日)狭山市駅前復興イベントになみえ焼きそば出店
(10:00~相馬野馬追騎馬隊が走ります!)
越谷市 ☎090-9425-2001(石上さん)

17 つながりの会
東北復興支援販売
草加市物産・観光情報センター
☎048-932-6770(草加市社協地域福祉担当)

18 ひまわりの会
☎080-5431-0123(島田さん・留守電)

19 さいがい・つながりカフェ
月2回木曜日11:00~15:00
9/13(木)、9/27(木)、10/11(木)、10/25(木) 11:00 ~ 15:00
(埼玉県男女共同参画センター・新都心駅7分)
04さいがい・つながりカフェ ☎048-601-3111、tunagari.saitama@gmail.com

24 新座さいがいつながりカフェ
新座市 ☎090-2402-9155(谷森さん)

25 青空あおぞら
9/23(日)10/28(日)
いずれも13:30~16:00@新所沢公民館
法律家参加、子どもokです。
所沢市 ☎090-8879-0213(SSN・愛甲)

27 おあがんなんしょ
9/9(日) 定例サロン 13:00~
フクトピア
10/21(日) バスレク企画
☎090-5345-8408(松館さん)

28 ここカフェ@川越
9/22(土) ぼろろんと共催
JUNホール
☎070-5080-4494(鈴木さん)

29 鳩のつどい
月2回 10:00 ~12:00
JAXA鳩山宿舎108号室
☎049-296-1241(鳩山町健康福祉課)

1 富岡町県外避難者拠点事務所主催の交流の旅 9/11(火) 詳細は1ページ
2 ママランチ会 9/19(水) 詳細は1ページ

4 加須ふれあいセンター
ふれあい食堂
月~金の毎日(11時~13時は日替わり定食500円、13時から無料カフェ)
加須ふれあいセンター
加須市正能11-5 ☎090-1650-2874(富沢さん)

5 すくすくのおそび広場
すくすくのおそびひろば
9/16(日)10:00~14:00 不動岡公民館 10/21(日)10:00~14:00 三俣公民館
シラコバトあそびひろば
10/27(土)13:00~15:00 “ハロウィーンでお年寄りを訪ねよう”
小中高生勉強会(1対1で学習支援) 毎週木曜 17:00~19:00 市民プラザかぞ5F
☎090-2411-8598(戸恒さん)

8 東日本大震災に咲く会 ひまわり
9/1(土)、10/6(土) 定例会合
10:00~12:00
シラコバト団地第一集会所
9/8(土)スライド上映会「あれから/Thereafter~東日本大震災から7年の記録」(撮影・編集 渡部俊哉)
第一部13:30~15:00 スライド上映会・対談 第二部15:00~16:00 懇親会(飲食物持ち込み可)
シラコバト団地第一集会所(※入場無料、募金箱有、駐車場:24号棟前駐車場)
上尾市 ☎048-607-6723(団地自治会事務所)、☎080-3091-6215(橘さん)

10 くまがや結の会熊谷市
9/15(土)東京湾納涼船の旅
10月 定例会を予定
090-7661-9236(林崎さん)

11 羽生つながりカフェ
☎080-5532-7380(薄井さん)

12 お茶っこふるさと会
久喜市 ☎090-6855-7140(木幡さん)

14 春日部つながりカフェ
9/5(水)2Fキッチンルーム料理会
10/3(水)3F第1会議室
いずれも13:30~16:00@コーププラザ春日部法律家参加です。
☎090-8879-0213(SSN・愛甲)

15 ひだまり広場
9/16(日)、10/21(日)
12:30~16:30
ほっと越谷 参加費無料
☎090-8613-1284(佐藤さん)

ぼろろん♪の時間
4 9/22(土)「国内避難民と人権」講演会 13:15~16:30
ウエスタ川越3F研修室23
5 10/21(日)生活クラブ学習会に参加 詳細は5ページ
070-5594-0053(鈴木さん)

1	8 32
2	
3	
4	
5	14
6	
7	
8	8
9	27
10	
11	1
12	
13	19
14	
15	10
16	5 15 16
17	
18	3
19	2
20	1
21	
22	4 28
23	25
24	
25	
26	
27	19
28	
29	
30	

1 双葉町民によるボランティアカフェ
9/20(木)10/18(木)いずれも10:00~15:00法律家、心理士参加です。いきいきサポートセンター
☎090-8879-0213(SSN・愛甲)

3 双葉町老人クラブ女性会 &さいがい・つながりカフェ
9/18(火)、10/16(火)10:00~12:00いきいきサポートセンター
☎090-5532-7380(薄井さん)

『福玉・便り』編集委員会
連絡先: NPO法人埼玉広域避難者支援センター
電話080-4331-0290 メール:fukutama@431279.com
こんな情報を掲載してほしい、この記事はよかった、など感想や質問をおよせください。

10 25 1330-1600 F
080-4331-0290